

# 2月は「高齢者見守り強化月間」です

雪が降り始め積雪が多くなると、ひとり暮らしの高齢者などは外出しづらくなり、家に閉じこもりがちになります。雪で足元が悪く、高齢者用の押し車や電動カートなどが動けなくなるためです。

特に高齢者だけの世帯では、冬場は日用品の買い物も困難になり、外に出て近隣の人や友人と会う機会も減ることから、日ごろの生活の様子が分かりにくくなります。

現在、市内の高齢者のみの世帯は約5,900世帯あります。高齢者が、安心して住み慣れた地域に住み続けることができるよう、町内や集落など地域の皆さんで、声かけやちょっとした除雪の援助などの温かな支援をお願いします。



## 簡単な支援から

- ・ごみ出しなどの「ついでに」の協力が大きな支援につながります
- ・除雪車が通った後は、お互いさまの心で玄関など出入り口の除雪支援をお願いします
- ・配布物、回覧板などを届けるときは、声かけのチャンスです
- ・夕方、家の明かりが点いているかの確認もさりげない支援の一つです
- ・「風邪をひいていませんか」などとニコリ笑顔で声をかけるだけでも大きな見守りです

お近くの高齢者に何らかの異変を感じ、いつもと様子がおかしいなど感じた場合には、ご連絡をお願いします。

●問い合わせ 介護高齢課高齢福祉係 ☎53-2111(内線367)



## 宝くじの助成金で

### 祭り用具を整備

朝日地区の下新保区では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、主に8月の盆踊りなどで使う祭り用具を整備しました。

区では、これらを有効に活用して、より活発なコミュニティ活動を行っていきたく考えています。

#### ■コミュニティ助成事業とは・・・

(財)自治総合センターが、自治宝くじの広報事業費として受け入れている受託事業収入を財源に、コミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を行うことを目的として、さまざまなコミュニティ活動に助成を行うものです。



整備した法被や太鼓など

●問い合わせ 自治振興課自治振興室 ☎53-2111(内線331)  
または各支所地域振興課自治振興室